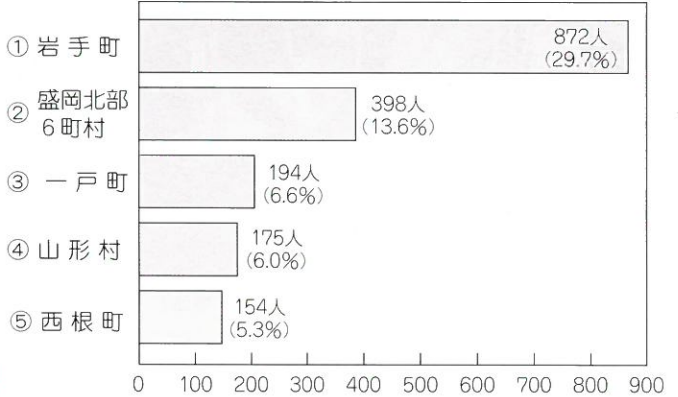


問5 仮に合併するとしたら、相手市町村はどこがよいですか？

岩手町が約30%でトップ

最も多かったのは、「岩手町」872人（29.7%）で、全体の約3割を占めています。次いで「盛岡北部6町村」398人（13.6%）となっています。

盛岡広域圏以外で多いのは一戸町と山形村で、全体の5～6%という状況です。



【町民の声】

- 地理的条件など、どこと合併しても大変だ。(70代・男性)
- 近隣の3町村程度の合併が妥当ではないか。(30代・女性)
- 本町と岩手町、一戸町の3町の合併はどうか。(60代・男性)
- 本町と合併したい市町村があるかどうか疑問だ。(40代・男性)
- 産業構造的に見て、馬淵川流域市町村で合併すれば、特殊性を活用できるのではないか。(30代・男性)
- 同じ地域性を持った町村と協力すべきだ。(30代・男性)
- 合併には反対なので、考えられない。(各年代多数)

- ⑥ 玉山村 (147人・5.0%)
- ⑦ 盛岡広域圏11市町村 (137人・4.7%)
- ⑧ 九戸村 (128人・4.4%)
- ⑨ 松尾村 (76人・2.6%)
- ⑩ 安代町 (57人・1.9%)
- ⑪ 滝沢村 (40人・1.4%)
- ⑫ 岩泉町 (38人・1.3%)
- ⑬ 盛岡市 (30人・1.0%)
- ⑭ その他 (65人・2.2%)
- ⑮ 無回答 (421人・14.4%)

【解説】

■盛岡北部6町村

岩手町、西根町、玉山村、松尾村、安代町、葛巻町の6町村

■盛岡広域圏11市町村

盛岡北部6町村に盛岡市、雫石町、滝沢村、紫波町、矢巾町が入ります。



自立の道を表明する中村町長

葛巻町議会12月定例会で 中村町長 自立の道を表明

葛巻町議会十二月定例会は十二月十八日から三日間の会期で行われ、初日の一般質問では、五議員から合わせて十項目の質問がありました。

中村哲雄町長は、橋場清廣議員の「市町村合併に対する町の考え」を正す質問への答弁の中で、「現段階では」と前置きしたうえで、「基本的に自立の道を歩んでいきたい」という方針を明らかにしました。

その答弁の要旨は次のとおりです。「合併」か「自立」かの選択は、本町がこれまで歩んできた歴史、伝統、文化などの「過去」に対して、また、暮らしている町民の皆さんの生活を守るといふ「現在」に対して、そして、子どもたちが将来に希望をもって生きていけるように導くという「未来」に対して責任を持つことであり、極めて重要な課題と認識しています。最終的な判断は、町民や議会の皆さ

らとの十分な議論を踏まえ、その総意で決定することが最善の方法であると考えています。その基本姿勢に立ち、これまで関係資料の全戸配布や地区座談会の開催、アンケート調査などを行ってきました。

市町村合併に関するアンケート調査の結果や近隣市町村の動向、地区座談会でのご意見などを総合的に判断し、現段階では、基本的に「合併しないで自立の道を歩む」という選択が町民の大方の意見であると判断しています。

しかし、自立の道を選択した場合、行財政の運営も相当に厳しくなることを覚悟せざるを得ません。

町としては、今年度に策定する新たな総合計画や行政改革大綱に基づき、今後の町づくりの方向性を定めます。また、行政の合理化・効率化により財源確保に努め、行政サービスの低下を招くことのないよう努力していきます。

このたび明らかにした「自立の道を歩む」という方針は、最終判断ではありません。あくまでも現時点での判断であり、今後、国や近隣市町村の新たな動きや事態の変化に応じて、議会並びに町民の皆さまのご意見をお聴きしながら、最善の道を選択していきたいと考えています。